

禊祓詞

高天原に神留まり坐す神漏岐神漏美命以ちて皇御祖神伊邪那岐命筑紫日向の橘の小戸の阿波岐原に御禊祓え給う時に生坐せる祓戸の大神等諸の枉事罪穢を祓え給え清め給えと申す事の由を天つ神国つ神八百萬神等共に天斑駒の耳振り立てて聞き食せと恐み恐み白す

とおかみえみため祓え給え清め給え(三回くりかえし)

大祓詞

高天原に神留まり坐す皇が親神漏岐神漏美命以ちて八百萬神等を神集えに集え賜い神議りに議り賜いて我が皇御孫命は豊葦原の水穂国を安国と平けく知し食せと事依さし奉りき此く依さし奉りし國中に荒振る神等をば神問わしに問わし賜い神掃いに掃い賜いて語問いし磐根樹根立草の片葉をも語止めて天の磐座放ち天の八重雲を伊頭の千別きに千別きて天降し依さし奉りき此く依さし奉りし四方の國中と太倭日高見国を安国と定め奉りて下つ磐根に宮柱太敷立て高天原に千木高知りて皇御孫之命の瑞の御殿仕え奉りて天の御陰日の御陰と隠り坐して安国と平けく知し食さむ國中に成り出でむ天の益人等が過ち犯しけむ種種の罪事は天つ罪国つ罪許許太久の罪出でむ此く出でば天つ宮事以ちて天つ金木を本打ち切り末打断ちて千座の置座に置き足わして天つ菅麻を本刈断ち末刈り切りて八針に取辟きて天つ祝詞の太祝詞事を宣れ此く宣らば天つ神は天の磐門を押し披きて天の八重雲を伊頭の千別きに千別きて聞き食さむ国つ神は高山の末短山の末に上り坐して高山の伊褒理短山の伊褒理を掻き別けて聞き食さむ此く聞き食してば罪と云う罪は在らじと科戸の風の天の八重雲を吹き放つ事の如く朝の御霧夕の御霧を朝風夕風の吹き払う事の如く大津辺に居る大船を舳解き放ち舳解き放ちて大海原に押放つ事の如く彼方の繁木が本を焼鎌の敏鎌以ちて打ち掃う事の如く遺る罪は在らじと祓え給い清め給う事を高山の末短山の末より佐久那太理に落多岐つ速川の瀬に坐す瀬織津比売と云う神大海原に持ち出でなむ此く持ち出往なば荒潮の潮の八百道の八潮道の潮の八百会に坐す速開都比売と云う神持ち加加呑みてむ此く加加呑みてば氣吹戸に坐す氣吹戸主と云う神根国底之くに氣吹き放ちてむ此く氣吹放ちてば根国底之くに坐す速佐須良比売と云う神持ち佐須良い失いてむ此く佐須良い失いてば現身の身にも心にも罪と云う罪は在らじと祓え給え清め給えと白す

とおかみえみため祓え給え清め給え(五回くりかえし)



大元宗忠神社

〒700-0972 岡山市北区上中野 1 丁目 3-10 TEL (086)241-0148 FAX (086)241-7860

http://www.munetada.jp/